

市役所 あれやこれや 2011

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

10. 24(月) 四国電力から防犯灯を寄贈

毎年、10月20日から31日までの「よんでんグループふれあい旬間」に香南市は防犯灯の寄贈を受けています。これは、明るいまちづくりに協力する地域共生活動の一環です。香南市は今年から防犯灯のLED化を推進していることから、市内6カ所へLED防犯灯の寄贈を受けました。授与式では、四国電力の高橋保裕山田営業所長が、市長へ目録を手渡し「今後も地域協力をさせていただきます」と話されました。



▲右 四国電力の高橋所長

企画課 ☎ 57-8503

11. 17(木) ナベヅルがやってきた

この日、広報担当者に「岸本小学校の北にナベヅルがきちゅう」と市民から電話がありました。急いで指定された場所へ行くと、アオサギが一羽。誤報かと思ひ、情報提供者にアオサギの写真を見せると「これはアオサギじゃ。ナベヅルはもっと大きゅうて4羽から5羽おったき」と一蹴されてしまい、再び現場へ。すると農道を優雅に歩く、体長90cmから110cmのナベヅル4羽を発見。周辺を見渡すと計7羽いました。



ナベヅルは、ロシア・中国・モンゴルから日本へ越冬しに渡ってきます。9割以上(約1万羽)のナベヅルが鹿児島県出水市で冬を越すそうで、香南市で見られるのは珍しいとか。毎年同じナベヅルが来ているのかは分かりませんが、冬の訪れを感じさせる瞬間でした。

これからもナベヅルが飛来しやすい環境を守っていききたいものです。

総務課 ☎ 57-8500

11. 21(月) 本庁みかん今年もたわわに

たわわに実った本庁のみかんを職員らで収穫しました。

今年の収穫は、例年とほぼ同じ約500個。本庁1階の総合受付前で来庁者に配ったり、23日(水・祝)にのいちふれあいセンターで行われた「香南ふれあい祭り」で来場者に配るなどして秋の味覚を楽しんでいただきました。みかんを味わった方からは「去年より甘くておいしい」と好評でした。



▲姉妹都市八重瀬町から人事交流で派遣された宮里さん。みかんの収穫を体験しました。

総務課 ☎ 57-8500

11. 21(月)～平成24年1月 集落調査で中山間地域の実態を把握



高知県は、中山間対策の見直しや市町村の集落対策強化のために「集落調査」を行っています。

香南市では11月21日に舞川地区を皮切りに、今後平成24年1月までに委託されている調査員が聞き取り調査や世帯アンケートなどを行っていく予定です。

約50世帯未満の集落が調査対象ですので、お手紙などが届いている代表者はご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

■対象地区

香我美町中西川(下組)(中部)(上組)、末延、正延、別役、別役(北谷)、奥西川、撫川、舞川、夜須町国光(上)(下)、細川、羽尾

企画課 ☎ 57-8503

検討委員会 始まる 香南市まちづくり基本条例検討委員会

香南市まちづくり基本条例検討委員会の第1回委員会が10月24日に開催されました。委員は一般公募20人、議会議員3人、市役所職員5人の計28人でスタートしました。第1回委員会では委員の委嘱式が行われ、仙頭市長から「香南市らしい基本条例を作成してください」と期待を寄せるあいさつがあり、その後、まちづくり基本条例とはどういった条例なのか、協働のまちづくり等について学習しました。

11月15日には第2回委員会が開催され、会議の持ち方について協議し、2つのグループに分かれて同じテーマで話し合い、全体会でまとめることになりました。

今後の予定は、12月に第3回委員会を開催し、各グループで市の現状や課題をさまざまなデータをもとに話し合うこととなっています。

総務課 ☎ 57-8500

地元の新鮮食材が目白押し

あぐりのさと13周年感謝祭

10月22日(土)・23日(日)に香我美町の「あぐりのさと」で、13周年感謝祭が開催され、店内は朝早くから多くのお客さんで賑わいました。恒例のもちつき体験・あめごの塩焼き・ミカンの詰め放題。店内いっぱい農産物を目当てのお客さんは笑顔で「私はこのお店の大ファンです」とカゴ



あぐりのさと営業日は、毎週土・日の9時～16時

いっぱいにお買い物を楽しんでいました。常連客も多く「やりゆうねえ」と会話も弾んでコーヒーやミカンのジュースに一息。

イチ押しは、うどんを食べながらのウッドテラス。山里の景色は必見です。皆さんも訪ねてみては。



鮮やかに咲き誇る懸崖菊

城山公園 懸崖菊

香我美町山北の城山公園の懸崖菊が今年も見頃を迎え、10月27日(木)～11月30日(水)まで多くの来場者の目を楽しませました。小高い丘に作られた懸崖菊は、まるで色とりどりの花柄のカーペットのようで、記念撮影に夢中になる来場者があちらこちらに。絶景ポイントに設けられた手作りのベンチに座って観賞する来場者からは「まっこときれい。ここは特等席」としばらく動かずに、咲き誇る懸崖菊の景色を楽しんでいました。また、山頂では、焼き芋やちらし寿司、菊鉢販売なども行われこちらも大盛況。目もお腹も満たされる城山公園でした。



森の文化祭

のいち動物園開園20周年記念イベント



ピクニック広場で、学べるクイズラリーに挑戦中の子どもたち!

10月22日(土)・23日(日)に開園20周年記念イベント「のいちの森の文化祭」が高知県立のいち動物園で行われました。初日はあいにくの大雨でしたが、2日目は快晴で多くの家族が訪れました。ピクニック広場の各ブースでは子どもたちが生き物に触れ「わあー動いてる」と係員の説明に目を輝かせる姿も。科学館では「ニホンカワウソの残したものと題して絹田俊和園長の講演などもあり、学ぶことがたくさんありました。11月3日(木)には20周年の式典も行われ、これからもおらんくの動物園は楽しみがいっぱいです。

フルーツの魅力のアートで伝える

日本フルーツアートクリエイター協会 エメラルドメロンの産地を見学



10月25日(火)JA土佐香美夜須支所の出荷場で、日本フルーツアートクリエイター協会がエメラルドメロンを使ったフルーツアートのデモンストレーションを行いました。

これは、夜須町のメロン部会が、東京にある同協会をパートナーとしPR活動をしていることがきっかけで実現。同協会は、メロン栽培を見学した後、生産者らにフルーツアートを披露しました。ペティナイフ一本で白鳥やハート形のメロンが10分ほどで完成すると来場者からは「綺麗に盛りつけられて生産者としては幸せ」とその技術に感動していました。